



在カンボジア日本国大使館
～在留邦人の皆様へ～

平成25年10月 9日

プノンペンにおける邦人被害の強盗事件の犯人逮捕について

- 1 9月28日、プノンペンにおいて邦人旅行者が強盗に遭い、銃撃されて負傷する事件が発生しましたが、10月7日、プノンペン都内においてカンボジア人男性2人組の犯人が逮捕されました。
- 2 犯人は、9月27日に発生したアメリカ人男性が被害にあった銃撃事件の他、数件の犯罪に関与していると自供しています。
- 3 本件の犯人は逮捕されましたが、今後もこのような事件が起きる可能性は否定できず、また、当地は依然としてけん銃が氾濫しておりますので、以下の点に引き続き注意してください。
 - ・ 外出時には身の回りの物は最低限とし、高価な物を持ち歩かない。
バッグは目に見える貴重品です。バッグは肩に掛けているとひったくられやすく、また、たすき掛けしていると盗られにくい反面、強奪され負傷する可能性が高くなってしまいます（引きずられる、武器を使用される等）。また、スマートフォン等を操作しながら歩くこと、買い物時に財布の中身に大金があれば目に付きますのでご注意ください。
 - ・ 深夜における不要不急の外出は避ける。
深夜の外出は危険が伴います。人通りが多いバー等でももちろん注意が必要です。
 - ・ 夜間のトゥクトゥク利用等を控える。
夜間のトゥクトゥクやモトドップの利用は避けてください。ひったくりに遭いやすく、また、運転手が強盗へと豹変する、仲間を手引きする可能性もあります。夜間の外出時はメータータクシーを利用するか、ドライバーを雇用している場合は自家用車を使用ください。
 - ・ カンボジアの治安機関や医療機関を過信しない。
事件や事故に遭遇した際、カンボジアの治安機関における事件事故の捜査能力は、まだまだ発展の途上にあります。また、医療機関においても日本と同程度の治療を受けることは不可能です。常に、自らの安全は自分自身で守ることを心掛け、事件事故を未然に防ぐようにしてください。

・カジノの危険性を十分に理解する。

カジノ利用後、後をつけられ金品を強奪される事案が発生しています。今年の3月には日本人がカジノを利用した後、滞在先の前に着いたところで現金を奪われ殺害されるという事件が発生しており、また、昨年12月にも中国人が同様に現金を奪われております。今一度このようなリスクを認識ください。

在カンボジア日本国大使館 領事班

電話:023-217-161~164

電話交換業務時間:平日午前8時~正午、午後2時~午後5時45分

領事窓口対応時間:平日午前8時~正午、午後2時~午後4時30分

緊急連絡先(平日昼休み):012-835-430

緊急連絡先(平日夜間及び休館日):095-777-911

大使館ホームページ:<http://www.kh.emb-japan.go.jp>

Eメール宛先:consular_jpn@pp.mofa.go.jp

【お願い:在留届の内容に変更がある場合や帰国の場合には、必ず当館にご連絡下さい。】

(了)